

# 令和5年度 日南市立北郷小中学校 学校関係者評価書

**学校の教育目標：確かな学力、豊かな感性、強い体を持ち、21世紀をたくましく生きる児童生徒の育成～幼小中一貫教育の推進と保護者・地域との連携を重視した学校運営の確立～**  
**本年度重点目標：①確かな学力の向上（知） ②豊かな感性を育む教育の充実（徳） ③体力向上・健康安全教育の充実（体） ④特色ある幼小中一貫教育の推進 ⑤学校・家庭・地域が一体となった教育の充実**

※ 4段階評価・・・4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	評価指標	方策・手立て	ゴールイメージ	自己評価			運営協議会 委員評価	総合 評価	結果考察・分析及び改善策等
				児童生徒	保護者	教師			
① 確かな学 力の向上 (知)	1 授業改善(4+4)を意 識した取組を通し、授 業力向上と学力向上を 図る。	・相互授業参観の実施 ・ICTを活用した検証授業 ・小中合同による学力調査結果 の分析、考察、対策の協議	1 タブレットなどのICT機器を活用して、興味関心をもたせ、わか る・できる授業づくりに努めている。	3.2	3.2	3.2	3.4	3.2	○ 各教師が相互に授業参観を行い、 改善に取り組んだ。定期的に行うこ とで指導技術の向上が図れた。
	2 家庭学習の習慣化と 充実を図る。	・家庭学習の手引き活用 ・自学ノート等の工夫	2 基礎的な学力を定着させるために家庭学習の充実を図っている。	3.2	3.0	3.0			○ 習熟を図る学習計画を立てたり、 指導方法の改善を図ったことで基礎 基本の定着を図った。
② 豊かな感 性を育む 教育の充 実 (徳)	1 道徳・人権教育を通し て、思いやりの心を育て る。	・道徳科の指導の充実 ・人権教育週間の充実 ・学級活動の充実	3 道徳、学級活動の授業等とおして、豊かな人間関係づくりや 思いやりの心を育む「心の教育」の充実を図っている。	3.5	2.9	3.0	3.8	3.3	○ 人権教育のレインボープランをもと に思いやりや望ましい人間関係の醸 成に努めた。
	2 SDGsの学習や豊かな 体験活動や日南ふるさと 学習を通して、郷土 愛を育てる。	・各学年での体験活動の充実 (田植え、茶摘み等) ・異学年間交流活動の充実 ・地域の自然や産業の学習 ・伝統芸能の継承と発表会	4 豊かな体験活動(梅ちぎり、茶摘み、田植え、芋掘り、伝統芸能) をおして、郷土愛を育てる「ふるさと学習」の推進を図っている。	3.2	3.3	3.1			○ 北郷の豊かな自然、伝統芸能、産 業等を素材にして、地域の人材を活 用して学習活動を計画どおり実施で きた。学習発表会で地域の方に披露 することもできた。
③ 体力の向 上、健康 安全教育 の充実	1 自他の命を大切にす る児童生徒を育成する。	・「命の大切さを考える日」の設定 講話等の実施	5 早寝・早起き・朝ごはんの奨励と給食時の食育指導を行うと共に 道徳や学級活動の授業をおして、生命・人権尊重の精神を育て る教育に努めている。	3.0	3.0	3.0	3.6	3.2	○ 道徳、学級活動をおして、命の 大切さや人を思いやる気持ちを培う 指導を行った。 ○ 人権擁護団体や他の外部関係機関 と連携し、人権と平和を大切にする 意識を今後も深めていく。
	2 基本的生活習慣の確 立に努める。	・栄養教諭と連携した食育指導 ・「弁当の日」(2回)実施 ・給食だより等の発行							
	3 健康教育・安全教育 の充実と体力の向上を 図る。	・定期的なフッ化物洗口の実施 ・交通安全教室の実施 ・計画的な避難訓練と救命講習法 の実施	6 災害に対応した計画的な避難訓練の実施を行い、体育の授業、 業間運動や部活動をおして、体力の向上に努めている。	3.2	3.1	3.3			○ 新体力テストから、総合評価は平 均値50を上回る児童生徒が少ない 今後も握力、シャトルラン、ボール 投げの向上を特化した体力向上を今 後も図っていく。
④ 特色ある 幼小中一 貫教育の 推進	1 幼小中一貫教育の推 進のため、交流活動や 研修を図る。	・合同研修会の実施 ・一貫教育運営部会の開催 ・幼小中の交流活動の実施	7 幼小中一貫教育を推進するため、園児・児童・生徒の交流活動 の充実を図っている。	3.3	3.1	3.2	3.8	3.3	○ 職員間で一貫教育運営部会や合同 研修会で児童生徒の情報を共有し、 教育活動に生かした。持続可能な保 小接続の取組が実施していく。
	2 英語への興味関心を 高め、コミュニケーション 能力の育成を図る。	・教育課程特例校としての工夫 ・シンガポール交流活動の充実 ・英語検定試験の奨励	8 豊かな国際感覚を身に付けた児童生徒を育成するために、シン ガポールとの交流活動や英語検定の受検を奨励し、英語教育の向 上に努めている。	3.3	3.0	3.3			○ シンガポールの学校の職員の方と 生徒が来日し、交流を実施した。 久しぶりの開催であったが、子ども たちは、楽しく交流を深めた。日程 は、無理のない計画をしていく。
⑤ 学校・家 庭・地域 が一体と なった教 育の充実	1 学校運営協議会を通 して、PDCAによる学校 運営を行う。	・児童生徒、保護者、教職員による 学校評価 ・学校運営協議委員会による評価	9 学校運営協議会、まちづくり協議会、PTAと連携した学校運営に 努め、保護者や地域の方への案内(行事等)は、マチコミメール で迅速に伝えると共に、学校の情報は学級通信やホームページ等 で情報の発信に努めている。	3.5	2.9	3.0	3.4	3.2	○ 学校運営協議会をはじめ、北郷町 まちづくり協議会と連携を深め、学 校教育に協力や支援を得ることがで きた。
	3 地域学校協働活動の 充実を図る。	・地域コーディネーターを中心に 高齢者クラブ・婦人会・公民館長 等、関係機関との協働体制の構築	10 地域コーディネーターを中心に、地域人材(民生委員・児童 委員や自治会長なども含む)を積極的に活用している。	3.5	3.1	3.1			○ 地域コーディネーターと連携が密 に図られ、地域人材を活用し、教育 活動が充実した。 ○ 学校だよりを発行したり、学校の ホームページを随時更新したり、学 校の様々な情報を広く提供した。